



ベーシックレベルⅠ 集中ケア

本院では、ベーシックレベルⅠ・Ⅱの研修で集中ケアを3回に分けて、医療機器、または救急看護と合同で行っています。先日、10月18日にベーシックレベルⅠの集中ケア・救急看護の研修が終了しました。

受講生のS看護師さん(A8病棟)とH看護師さん(D8病棟)に研修を受けた感想とフィジカルアセスメントについて、入職後6ヶ月経って思うことなどについてうかがいました。また、研修担当のT副看護師長さんに集中ケアの研修内容やフィジカルアセスメントを学ぶ皆さんへのメッセージをいただきました。

S看護師さん(A8病棟)

集中ケアの研修を通して、改めてフィジカルアセスメントの重要性を学ぶことができました。

日常ケアを通して、一番患者様のそばにいるのは看護師です。日々の症状観察はもちろんですが、急変にいち早く気づき、必要な処置を行わなければならない場面に遭遇する事が、今後、考えられます。特に準夜や深夜の勤務が始まり、スタッフの人数が少ない中で急変に備えて必要なフィジカルアセスメント・ケアができるかという能力が必要となってきます。

今回の研修では、救急看護・集中ケアの基礎から講義・演習を受けることができました。認定看護師さんの実体験を基に、場面を想定した講義を受けることができ、とても貴重な講義・演習となりました。まだ知識の段階ではありますが、日々のケアの中で今回学んだことを活かしていけるよう、意識していきたいと思えます。

研修を通し、普段はあまり出会うことのない同期とも話をすることができました。苦しい思いや悔しい思いをしているのは自分だけではないことも分かり、お互い情報交換を行ったり、励まし合える場ともなりました。

入職して半年が経ちますが、まだまだ必要な知識・技術は乏しく学びが必要です。半年後には今経験させていただいていることを活かし、自分なりに自信を持ったケアが行える看護師となれるように頑張ります。



H看護師さん(D8病棟)

集中ケア(呼吸と循環フィジカルアセスメント)の研修を受けて、より正確な技術の習得や必要なケアに繋がるアセスメントをすることが重要だと感じました。

また、7月、10月という時期に研修を受けたことで、実際の患者さんを想像しながらフィジカルアセスメントの振り返りを行うことができました。実践では、呼吸音の鑑別や心電図の読み取りなど難しいと思うことはたくさんありますが、先輩に質問したり相談したりしながら勉強しています。

入職して半年が経ちますが、私の病棟には自分が入職する前から病気や治療と向き合ってきた患者さんも多く、過去の病態や患者さんご家族の気持ちを理解したり、今後の人生や退院後の生活と一緒に考えたりすることはとても難しいと感じています。出来ない事や失敗が多く落ち込むことはありますが、患者さんからの「あなたの笑顔をみられるだけでいいのよ」「あなたの元気な挨拶が活力になる」という言葉や、先輩からの「出来ることが増えた自分を認めてあげようね」という言葉で、もっともっと頑張ろうと思うことができました。

これからも患者さんとの何気ない会話の中で病気や治療に対する思いに触れ、関わりを通して色々な人生を知り、今後の看護に活かしていきたいです。そして、この看護師さんと一緒に病氣と向き合うことができよかったですと思ってもらえるような看護がしたいです。



「集中ケア」担当 T副看護師長(C6病棟)

ベーシックレベルの「集中ケア」研修プログラムは、多くの認定看護師さんや臨床工学技士さんの御支援を受けながら、レベルⅠは2回/年、呼吸のフィジカルアセスメントから始まり循環のフィジカルアセスメントの講義、呼吸音聴取、酸素療法、口鼻吸引、十二誘導心電図などの演習を行っています。レベルⅡは1回/年、重症呼吸不全のフィジカルアセスメント、人工呼吸器使用中患者の看護などの講義、人工呼吸器の稼働、アラーム発生の仕組み、人工呼吸器装着患者体験、挿管中の気管吸引など、シミュレーターや実際の医療機器を使用して演習を行っています。

呼吸、循環に異常がある患者さんの観察や看護に、苦手意識がある方も多いかもしれませんが、呼吸、循環のフィジカルアセスメントは患者さんの観察、看護を行っていくうえで基礎となる大切な知識、スキルであると思います。私達看護師は、患者さんのちょっとした状態の変化に気づくことができる感性が必要です。そのため、フィジカルアセスメント力を身につけることは、どこの部署においても看護を行っていくうえで必ず強みとなり役立つものであると思っています。さらに、実際、人工呼吸器などの医療機器を操作したり、看護技術を学んだり実践に近い状態で一人ずつ演習を行っていただくことで、これからの臨床の場で活かしていっていただくと考えています。

この研修を通して呼吸、循環に関して興味を持つことができ、新たな学びとともに臨床経験を重ねていただけることを期待しています。



平成28年度 看護研究交流会

多くの方にご参加・ご協力いただき、看護研究交流会が無事終了しました。皆さま、ありがとうございました。今年度より、発表時期が10月となり、発表部署の皆さまには、タイトなスケジュールの中で、研究をさせていただきました。発表の内容は、そのようなことを感じさせない素晴らしいものでした。本当にお疲れさまでした。今後、学外での発表に挑戦されることを期待しております。

また、運営委員の皆さま、自らの役割を丁寧かつ確実に果たしていただいたことで、スムーズに進行することができました。本当にありがとうございました。看護研究交流会の様子は、vol.86でお知らせします。



お知らせ

ベーシックレベル研修
11月24日(木) 8:00~16:45 ベーシックレベルⅡ (一部公開講座)
12月22日(木) 8:00~16:45 ベーシックレベルⅢ

平成29年度 研究支援者依頼提出書提出 12月28日(水)締切
研究支援を希望する部署は、教育担当副看護部長に提出してください(看護研究ガイド P3参照)。
*継続研究の場合も提出をお願いします。

OSCE 12月 2日(金) 8:00~16:45 ベーシックレベルⅠ

28年度CVポート認定システム受講について
申込み後、受講決定となり、研修案内が手元に届いた方は、下記のファイル内にある「2016年CVポート管理受講予定表」の受講希望日時に名前をフルネームで入力してください。
※ナースナビでの申込み締切: 10月31日(月)
院内共有→501看護部→スタッフ→IVナース受講予定表→「2016年CVポート管理受講予定表」